

政策シート (政策名) 不法投棄対策の推進

(予算費目名) 産業廃棄物対策費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

監視カメラの設置や不法投棄防止パトロール等の事業効果により、生活環境に影響を及ぼす恐れのある産業廃棄物の不法投棄は発生していない。本事業にあわせ、産業廃棄物排出事業者や産業廃棄物処理業者等への処理指導及び市民等への不法投棄防止啓発活動を継続的に実施することで、不法投棄等産業廃棄物の不適正処理発生を防止する。

◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑪都市	⑫生産・消費	⑰実施手段						
-------	-----	--------	-------	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	21,786	12,686				
決算	19,566					
人件費(A)	117,200	120,800				
報酬(B)	9	282				
年間経費(予算又は決算+A+B)	136,775	133,768				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
生活環境に影響を及ぼすおそれのある産業廃棄物の不法投棄件数	件	目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

監視カメラの設置や不法投棄防止パトロール等の事業効果により、生活環境に影響を及ぼす恐れのある産業廃棄物の不法投棄は発生していない。本事業にあわせ、産業廃棄物排出事業者や産業廃棄物処理業者等への処理指導及び市民等への不法投棄防止啓発活動を継続的に実施することで、不法投棄等産業廃棄物の不適正処理発生を防止する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
生活環境に影響を及ぼすおそれのある産業廃棄物の不法投棄件数は、昨年度に引き続き0件であり、計画通り推移している。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	産業廃棄物適正処理推進事業				○	126,103	12,021	13.0	4.0		3.0	282
2	産業廃棄物対策運営経費					7,665	665	1.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						133,768	12,686	14.0	4.0		3.0	282

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 産業廃棄物適正処理推進事業

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理施設や産業廃棄物処理業等の許認可事務等及び産業廃棄物排出事業者からの相談・指導業務等を通じて、産業廃棄物の適正処理を推進することで生活環境の保全を図る。

◇事業の概要

- ・産業廃棄物処理業等の許認可及び廃棄物処理施設設置の許可に係る事務の実施
- ・廃棄物処理施設の設置等に係る紛争の予防と調整に関する条例に基づく事務の実施
- ・産業廃棄物処理業者等への立入検査による監視指導
- ・自動車リサイクル法登録、許可業者への立入検査による監視指導
- ・多量排出事業者への立入検査による排出抑制、再生利用等の促進指導
- ・病院への立入検査による感染性廃棄物等の適正処理指導
- ・建設リサイクル法に基づく一斉パトロールによる建設系廃棄物の適正処理指導
- ・PCB含有電気機器等保有事業者への立入検査等による期限内処理指導
- ・廃プラスチック類の大規模不法投棄監視パトロールの実施
- ・ヤード業者への立入検査による廃プラスチック類適正処理指導
- ・不法投棄防止パトロール及びカメラによる監視
- ・不法投棄等防止啓発事業の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	法定受託事務	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	21,293	12,021				
	決算	19,170					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,903	1,448				
一般財源		16,267	10,533				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)		9	282				
人件費 (千円)		110,200	113,800				
人工	正規	13.0	13.0				
	再任用(h31)	3.0	4.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	3.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.6
③保健		⑫生産・消費	○ 12.5
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.3	⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	○ 17.17
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・3R活動の推進と不法投棄の撲滅により、環境影響を軽減し、水質を改善することに寄与します。
- ・3R活動の推進と不法投棄の撲滅により、快適な都市づくりを行い、都市の環境上の悪影響を軽減することに寄与します。
- ・3R活動の推進により、廃棄物の発生を大幅に削減することに寄与します。
- ・3R活動の官民連携体制を整え、効果的な公的・官民等のパートナーシップを推奨推進することに寄与します。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
生活環境に影響を及ぼすおそれのある産業廃棄物の不法投棄件数(件)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		0	0	0	0	0	0
実績値		0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
産業廃棄物処理業者、排出事業者等への立入検査予定件数に対する実施率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		100	100	100	100	100	100
実績値		106.1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
高濃度PCB含有電気機器保有等事業者への立入検査予定件数に対する実施率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		100	100	100	-	-	-
実績値		122.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①産業廃棄物適正処理推進事業

- ・産業廃棄物処理業等の許可に係る事務の実施
- ・廃棄物処理施設の設置の許可に係る事務の実施
- ・廃棄物処理施設の設置等に係る紛争の予防と調整に関する条例に基づく事務の実施
- ・産業廃棄物処理業者等への立入検査による監視指導
- ・多量排出事業者等への立入検査による排出抑制、再生利用等の監視指導
- ・PCBを含有する恐れのある安定器掘起し調査フォローアップ事業
- ・PCB含有安定器保有事業者への立入検査等による期限内処理推進

②不法投棄対策事業

- ・不法投棄多発地点を中心としたパトロール及びカメラによる監視
- ・不法投棄防止キャンペーンの実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

令和元年度において以下の事業を実施した。

- ・産業廃棄物収集運搬業及び処分業の許可:31件
- ・廃棄物処理施設の設置等の許可:10件
- ・産業廃棄物処理業者、産業廃棄物排出事業者への立入検査:342件
- ・PCB含有電気機器保有状況調査等のための立入検査:863件
- ・パトロールの実施状況:のべ249日/年、パトロールによって発見した不法投棄物量:267kg
- ・不法投棄防止キャンペーン:The GATE HAMAMATSUIにおいて、(公社)静岡県産業廃棄物協会と協働して啓発品の配布及び不法投棄防止のPR活動を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生活環境に影響を及ぼすおそれのある産業廃棄物の不法投棄は、引き続き認められず一定の事業効果が得られた。また、懸案である家庭ごみ等の不法投棄対策のための効果的な手法を、各自治会に所属する環境美化推進員へ周知し意識向上を図った。
- ・PCB含有安定器フォローアップ調査では、掘起し調査で得た成果を最大限に活用することで、効果的な調査ができた。また、PCB調査専属の職員を増員し、充実した現地調査を行い、法定期限内の処理指導に注力した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・国内の廃プラスチック滞留問題に伴い大規模な不法投棄発生が懸念されていることから、国内の資源循環体制構築までの間、監視を強化するとともに、廃プラスチック類の適正な処理を推進するため、ヤード業者等へ立入指導を実施する。
- ・PCB含有安定器の法定期限内の処理を確実に遂行する。

事業シート (事業名) 産業廃棄物対策運営経費

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計			-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	493	665				
	決算	396					
	国・県支出						
	市債						
	その他	396	665				
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		7,000	7,000				
人工	正規	1.0	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工